



第 15 回 ローマ帝国の繁栄と混乱

1 五賢帝時代

・カリグラやネロの時代の混乱の後、96～180年の間、優秀な5人の皇帝が続いた。
 ※この時代を（ ）という。

- ◆（ ）（在位 96～98年）
- ・五賢帝最初の皇帝で、混乱を収めた。

- ◆（ ）（在位 98～117年）
- ・初の属州出身（ヒスパニア出身）の皇帝で、ダキアやメソポタミアを征服した。
 →この時代に、ローマ帝国の領土が最大となった。



ハドリアヌスの長城
 イングランドとスコットランドの境近くにある。

- ◆（ ）（在位 117～138年）
- ・ブリタニアに長城を築いた他、ユダヤ人の反乱を鎮圧した。
 →ユダヤ人の各地へのディアスポラ（離散）が進んだ。

- ◆（ ）（在位 138～161年）
- ・ローマ帝国の財政改革を行い、平和な時代を実現した。

- ◆（ ）（在位 161～180年）
- ・ストア派の哲学者でもあり、『 』を書いた。
- ・（ ）時代の中国に使者を送った（ ）と同一人物とされる。



ネルウァ
 最初の五賢帝だが、在位わずか2年で死去した。



トラヤヌス
 叩き上げの軍人で、優秀な司令官であった。女よりも男が好き。



ハドリアヌス
 最初にひげを生やしたローマ皇帝。『テルマエ=ロマエ』にも登場。



アントニヌス=ピウス
 ピウスとは「敬虔な人」という意味で、贈られた称号である。



マルクス=アウレリウス=アントニヌス
 哲学者の皇帝なので、哲人皇帝と呼ばれる。ただし息子はアポ。

<パクス=ロマーナの時代>

- ・この時代、ローマ帝国は各地に都市を建設し、水道や道路を整備した。
 →（ ）、（ ）、（ ）、ケルンなどは、もともとローマ帝国が建設した都市である。
- ・インドの（ ）とは、季節風貿易を盛んに行っていた。
 →『エリュトウラー海案内記』にその様子が詳しく書かれている。
- ・中国からは、シルクロードを通じて絹などを輸入した。

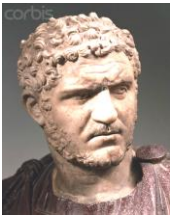
2 ローマ帝国の混乱

- 五賢帝時代の後半以降、東方の（ ）や北方の（ ）との戦いが、激しさを増していった。
→政治的・財政的・軍事的に、危機的な状況となっていた（3世紀の危機）。

- ◆（ ）（在位 211～217 年）
 - 212 年、アントニヌス勅令により、ローマ帝国内の全ての自由民（奴隷以外）に、（ ）が与えられた。
 - ローマに（ ）を建設した。

◆エラガバルス帝（在位 218～222 年）

- シリアの祭司であり 14 歳で即位。女装して若い美男子をあさった。



カラカラ

カラカラとは、本名ではなくあだ名である。弟と仲が悪く、争ったあげくに殺してしまった。ただし自分自身も暗殺された。



カラカラ浴場

現在は廃墟になっているが、訪れると巨大さがわかる。利用料は激安で、マッサージやトレーニング施設もついていた。



エラガバルス

生物学的には男だが、心は女だった。現代的な視点で見れば、性同一性障害と考えることもできる。この人も受験にはまず出ません。

3 軍人皇帝時代

- 外国との戦争が多くなったために、軍隊の発言力がかつてないほど高まった。
→各地の属州の軍団が、都合のよい人物を勝手に皇帝につけるようになった。
- 235 年以降の 50 年間で、軍隊によって 26 人の皇帝が乱立した。
※この大混乱の時代を（ ）という。



マクシミアス

アゴに注目。巨人症という病気であったことは間違いない。

◆マクシミアス帝（在位 235～238 年）

- 軍人皇帝時代の最初の皇帝。身長 260 cm！

- ◆（ ）（在位 253～260 年）
 - 260 年、エデッサの戦いでササン朝ペルシアの（ ）と戦って敗れ、捕虜となった。

<ローマ社会の変化>

- 異民族の侵入、政治・経済の混乱、重税などにより、都市の衰退がはじまった。
- また領土の拡大が止まったため、戦争捕虜を獲得できなくなった。
→奴隷が供給されなくなり、ラティフンディアも行き詰まった。
- 重税から逃れて地方に移住した有力者により、奴隷の代わりに没落した市民や解放奴隷を小作人（ ）として働かせる大土地経営が行われた。
※これを（ ）という。